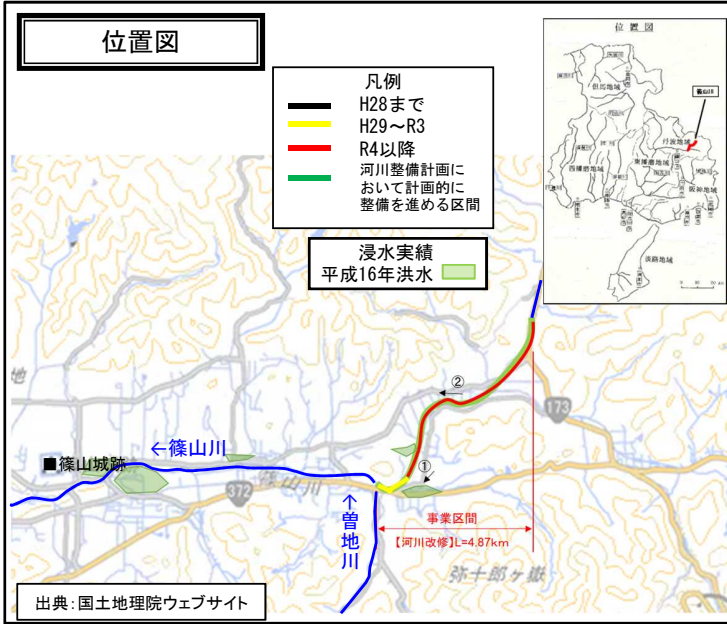


河川事業 一級河川加古川水系〔丹波圏域〕（継続：再評価〔第2回〕）



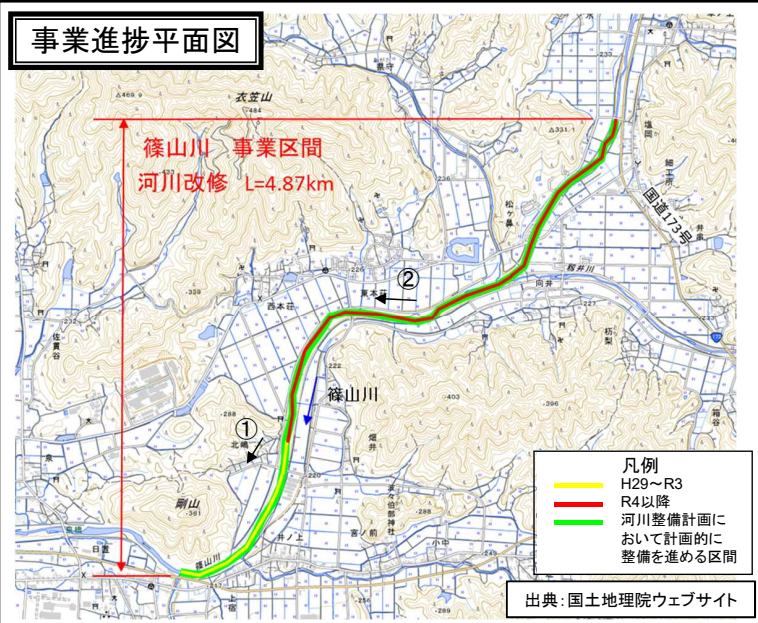
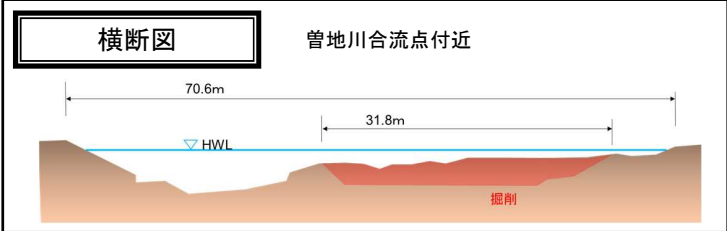
事業概要および進捗状況

工区	事業区間	整備内容	計画規模	今回評価時点	前回評価時点	
加古川水系丹波圏域	篠山川 曾地川合流点付近～明永橋	河床掘削 護岸	1/14	事業費	7.0億	4.0億
				残事業費	5.0億	3.0億
				進捗率	29%	25%
				完了予定年度	R7	R3

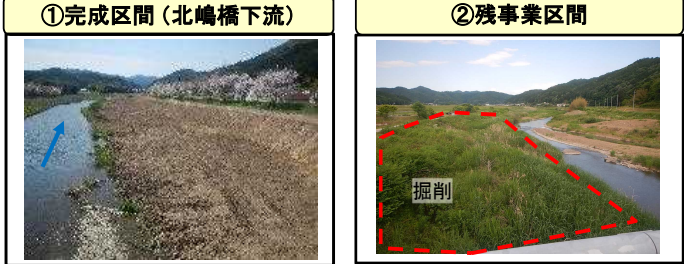
河川整備計画策定年度	H23年度	河川整備計画に位置づけられた全ての事業によるB/C	3.9
前回評価年度	H28年度		
再評価年度	R3年度		

事業の目的、必要性・優先性

目的	河川整備計画(H23.8)に基づく治水安全度の向上（昭和58年台風第10号程度の洪水に対し、安全に流下）
必要性 優先性	①直近では平成16年10月台風23号洪水により、浸水被害を受けている。 ②河川改修区間が残っており、引き続き河川改修を進める必要がある。



現況写真



工程表

■ : 前回計画
 ■ : 実施・計画

工種	年度								
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
掘削									

進捗状況

	事業進捗状況・予定	整備効果
全体	河道改修 4.87km	流下能力の向上（昭和58年台風第10号による洪水を安全に流下）
整備計画策定～再評価まで（H23～R3）	河道掘削 1.07km	流下能力の向上（昭和58年台風第10号による洪水を安全に流下）
今後予定（R4～R8）	河道掘削 3.80km	流下能力の向上（昭和58年台風第10号による洪水を安全に流下）

再評価の経緯・結果

再評価に至る経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業着手に際し、直下流の樹木伐採を行うよう地元要望があったため、箇所選定などに時間を要した。 ・兵庫県レッドデータブック：Bランクに位置づけられている貴重種（スナヤツメ）に配慮するため、学識者から意見聴取を行い対策工法について検討した。 ・詳細な測量の結果、掘削土量の増加により、事業費の増額及び完了年度の延伸が必要となった。
再評価の結果	事業の必要性は、前回評価時と変わっておらず、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。